

定期テストの受け方です！

長島中には『定期テストの受け方』というのがありますので知っておいてください。

テスト前

- ①出席番号順で6列に並んで座る。縦、横を整え、席は離す。
- ②室長は学級の出席状況を確認し、1限目が始まるまでに板書しておく。
- ③机の上には筆記用具(ペンケースから出しておく)以外は置かない。机の中や横には何も入れたり掛けたりしない。ペンケースやカバン等はチャイムが鳴るまでに後ろのロッカーに入れておく。

テスト中

- ①最初のチャイム(予鈴)で室長は号令をかけ、あいさつをおこなう。その後、テスト問題が配付され、5分後のチャイム(本鈴)でテストを開始する。
(テストは45分間)
- ②テスト開始までは筆記用具を持たない。
- ③濃い鉛筆、シャープペンシルでわかりやすくていねいに書く。
- ④下敷きの使用は禁止。
- ⑤質問がある場合や問題用紙、筆記用具が机から落ちた場合は、静かに手を上げて教師の指示に従う。
- ⑥生徒間で筆記用具等の貸し借りはしない。
- ⑦他の生徒の解答を見て写す、きょろきょろする、私語をする、不必要な音を立てるなどの行為は不正行為と見なされるので絶対にしない。不正行為があった場合は、関わった者すべてが指導の対象となる。その場合、当該教科、または関係する教科の点数を0点とすることもある。

テスト後

- ①終了のチャイムが鳴ると同時に筆記用具を置き、各列の一番後ろに座っている生徒が出席順に解答用紙を集めて教師に渡す。
- ②教師が解答用紙の氏名や出席番号を確認している間、着席して静かに待つ。
- ③解答用紙の確認ができたなら室長が号令をかけ、あいさつをする。

定期テストは成績に大きく関わることもあり、高校入試に準じるかたちでおこないます。他の生徒の解答を盗み見るような不正行為はもちろんのこと、不正行為を疑われるような行為、私語や落ち着かない態度などは決してしないようにしましょう。また、テスト返しのときにも改ざんなどの不正行為を防ぐため、机上に赤ペンだけしか出さないようにしています。もし、そのような不正行為があった場合には、テスト中の不正と同様の処置をとることになっています。

そもそも定期テストというと、“成績に直結するもの”と考えがちです。もちろんそういった要素も大きいのですが、その意識ばかりが強くなると、“1点でも多く点数を取る”に気持ちが傾き、その先に“点数を取るためには手段を選ばない”という考えが出てくると思われます。しかしそんなことより、テストを受けることによ



って、自分が授業の内容をどれだけ理解できているのか、どこが理解できていないのか、これからどのような力が必要なのかということに気づくことの方が大切ではないかと思います。そもそも、高校入試などは自分の本当の実力が試されるといいでしょう。そういった意味で、中学校での学習はその教科の基礎基本、原理原則を身につけ、それを応用できる知恵を獲得することを目指しています。ただ、日頃の授業を見ていても、内容より点数に固執する傾向、授業中に考えることより黒板をうつすことに力を注ぐ傾向があるように思います。小学校と違って定期テストがあり、より専門的な内容の授業になったのを機会に、ぜひ本当の実力をつけるような学習をしてほしいものです。

～学習計画を～

今回、初めて定期テストなるものを経験することになりました。小学校のときのよう単元の学習が終わるとテストがあったのは違って、テスト範囲も広くなり、かなり前に学習したことも出題されます。当然のことですが、もう一度復習が必要です。ここで以前の学習内容の復習をし、学力を定着させることも定期テストの目的となります。一方、通常の授業は進んでいきます。このように普段の学習に加え、「テスト勉強」と呼ばれる勉強をするために、1週間前から部活動が停止になります。この期間を有効に使うためにも、学習計画を立てることが大事になってくると思われます。学習計画を立てるために、いたずらに時間を使ってしまうのは本末転倒ですが、行き当たりばったり勉強するのではなく、自分に必要なことを必要なだけ勉強できるよう、独自の学習計画を立ててください。そして、強い意志を持ってその計画を実践して欲しいと思います。初めての体験です。がんばりましょう。